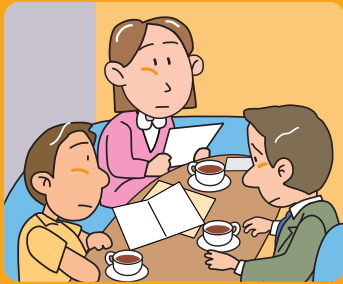


被害者は 何をしてほしいと 思っているんだろう

被害者が、周囲に「こうしてほしい」、「手伝ってほしい」と思っていることがあるとしたら、それはどんなことでしょうか。もし自分が被害者だったらと想像して選んでみましょう。また、友達が被害者だったら、友達に何をしたいと思いますか。

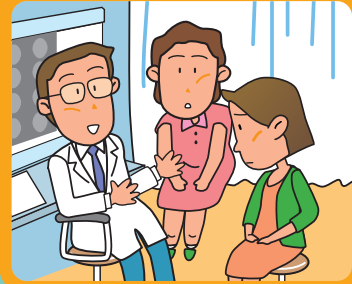
ア 事件の相談相手



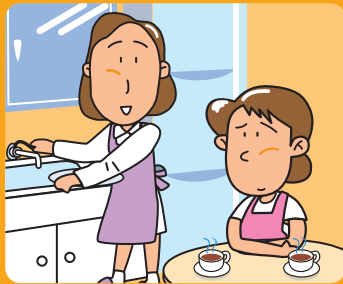
イ 警察や裁判所へ行くときの手助け、付きそい



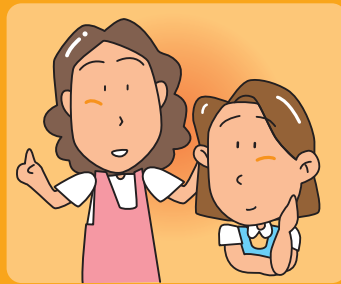
ウ 病院への付きそい



エ 家事や買い物の手伝い



オ ふだんの話し相手



カ そっとしておく



自分が被害者だったらこうしてほしい

()

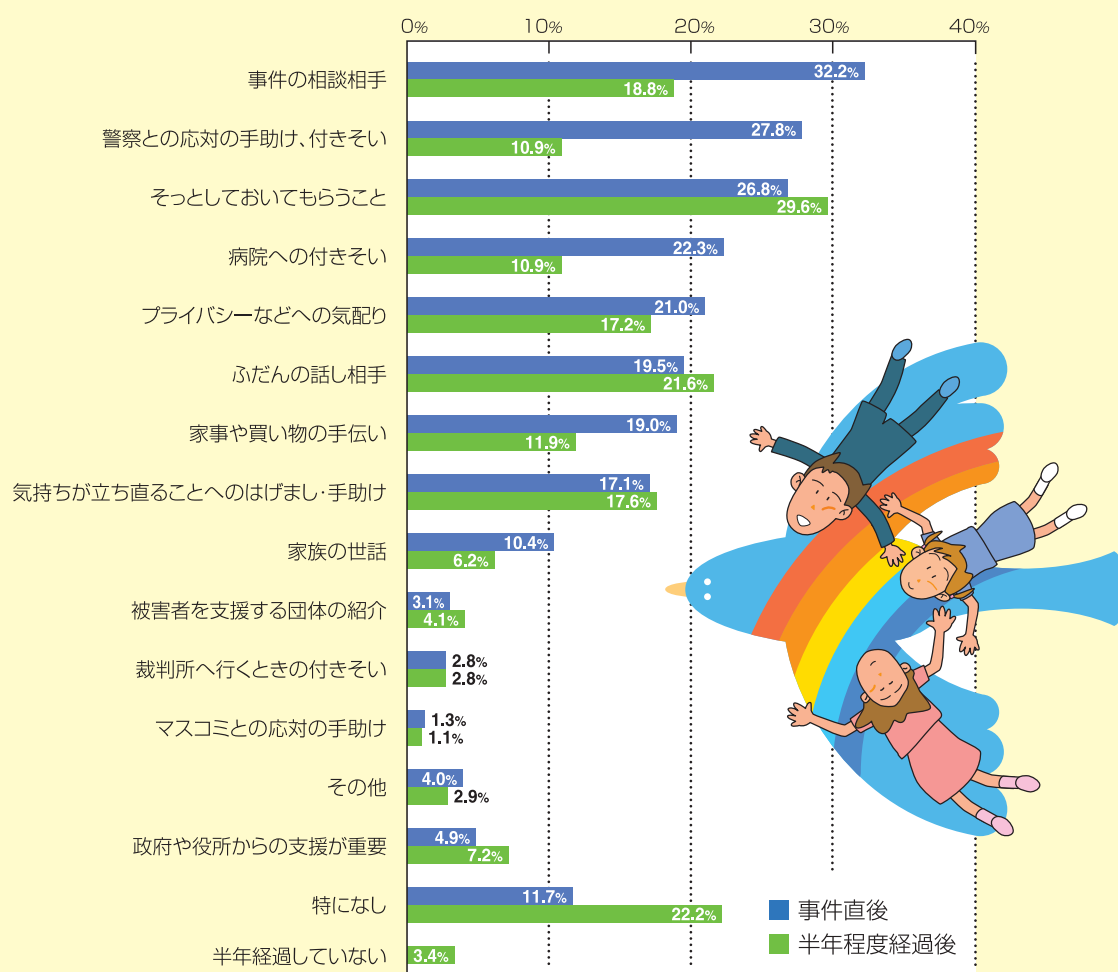
自分の友達が被害者だったらこうしたい

()

被害者が してほしいと思っていること

被害者に、事件にあったあとの生活で必要だった支援は何かを聞きました。「事件の相談相手」、「警察との対応の手助け、付きそい」など事件に関わるもののほかに、「そっとしておいてもらうこと」「ふだんの話し相手」など事件から離れた日常生活のことも支援や配慮を必要としていることがわかります。

被害にあった人は、こんなことをしてほしいと思っています



注意しなくてはいけないのは、被害者は落ちこんで悩んでいたとしても決して「弱い存在」ではないということです。被害者を「助ける」という考え方ではなく、その人の気持ちやその人に起こっている出来事をよく考え、「相手によりそう」という気持ち大切です。それは、あなたにとって、いつもどおりに接することかもしれませんし、そっとしておくことかもしれません。相手の話に一生懸命耳をかたむけることかもしれません。自分が相手のためにどうすればよいか考え、すこしずつ行動してみましょう。